

地震火災から大切な命と住まいを守るため

# 感震ブレーカーを設置しましょう

地震による火災の過半数は電気が原因です。

過去の大地震では建物の倒壊だけでなく、火災による被害が多く発生しています。

東日本大震災による火災では、原因が特定されたもののうち過半数は電気に起因したものでした。

**電気火災対策には感震ブレーカーが効果的です！**

感震ブレーカーの普及により、地震火災による焼失棟数や死者数は著しく減少すると推計されており、被害軽減に大きな効果が期待されます。

感震ブレーカーは震度5強相当の地震を感知して、電気を自動で遮断します。

感震ブレーカーには分電盤タイプ(内蔵型)、分電盤タイプ(後付型)、コンセントタイプ、簡易タイプがあります。

性能評価を受けた製品には、認証マークや推奨マークが表示されています。商品を選ぶ際の参考としましょう。



内閣府 感震ブレーカー普及啓発チラシより抜粋

## 感震ブレーカーのタイプ別の特徴

### 分電盤タイプ(内蔵型)

分電盤に感震遮断機能が内蔵されています。地震が発生し、大きな揺れを感知すると、ブザー音がなります。夜間の避難などを考慮し、すぐには電気を遮断しない機能を持つ機種もありますが、その場合には感知して一定時間後、ブレーカーが落ち、電源を遮断します。設置には電気工事が必要です。



### 分電盤タイプ(後付型)

既設の分電盤に後から設置できる後付型です。設置には電気工事が必要となります。また、分電盤の形状や種類によって、取付けが可能なものと不可能なものがあるので確認が必要です。



### コンセントタイプ

内蔵されたセンサーが地震を感知するとコンセントからの電気を遮断します。電気が遮断されるのはこのコンセントに接続された家電のみですので、特に出火の危険性の高い電熱器具が接続されているコンセントを中心に設置すると効果的です。避難用の照明や在宅用医療器具等、地震時においても電力供給が必要な機器への電力供給を継続することができます。コンセントタイプには差込型他に埋込型もあります。



### 簡易タイプ

地震の振動で主幹ブレーカーをOFFに切り替えます。パネで動作するものや、おもりで動作するもの等があります。パネで動作するものは地震を感知すると、中のパネの力でバンドが作動し、物理的に主幹ブレーカーをOFFにします。おもりで動作するものは、地震の振動でおもりが落ち、つながったひもで主幹ブレーカーをOFFにします。



総務省消防庁 感震ブレーカー普及啓発チラシより抜粋

## 設置にあたっての留意点

夜間に地震が発生し感震ブレーカーにより照明が消えた場合においても、安全に行動できるよう保安灯や懐中電灯を備えておきましょう。

医療機器などを使用されている場合は、補助電源が確実に動作することをあらかじめご確認の上、設置しましょう。

復電する際は、事前に電気製品の安全やガス漏れがないことを確認しましょう。

感震ブレーカーに関する詳しい情報は  
[こちら](#)



八幡浜地区施設事務組合消防本部  
YAWATAHAMA FIRE DEPARTMENT

【問合せ先】

予防課 ☎ 23-0119